



Garage Set

動く部品を使って原因と結果の関係を体験し、自由なごっこ遊びも楽しめます。物事の順序を考える力、方向や位置を表す言葉（上へ、下へ、通り抜ける）、交代しながら遊ぶ力を支えます。

内容

ヘリコプター付きガレージ、乗り物3台

対象市場

家庭・教育の両方

セットの内容



Tolo Garage with Helicopter

32 × 28.5 × 17 cm



Baby Sport

9 × 6 × 8 cm



Baby Roadster

9 × 6 × 8 cm



Baby Sidecar

9 × 6 × 8 cm

子どもが学ぶこと



原因と結果

押すとヘリポートが上がり、遮断機を持ち上げると車が通れ、上で手を離すとすべります。5つの仕掛けがあり、それぞれ結果がはっきりしています。



順序立て

遮断機から入り、スロープを上がり、洗車を通り抜けて、駐車し、出ていく。道のりには順序があり、お話にも順序があります。



言葉

上、下、入る、出る、通り抜ける、止まる、進む、洗う、充電する。位置と動作の言葉が、することと一緒に出てきます。



手先の器用さ

小さな車でカーブを曲がり、指1本で遮断機を持ち上げ、時計の針を合わせます。



想像力

車はどこへ行く？ヘリコプターには誰が乗っている？ガレージはパズルではなく舞台です。



社会的な関わりを伴う遊び

子ども1人に車1台、みんなで使うガレージは1つです。遮断機の前で待つことは、2歳のお子様でも取り組める順番を守る練習になります。

テーマ

旅

わたしたちの通り

上と下

止まる、進む

乗り物

順番を待つ

時計を読む



Learning through play

ひとつのセットで5年間遊べる



セットの4つの使い方

ひとりで発見する：12か月以上
床にガレージと車1台。ボタン、すべり台、遮断機。しばらく遊べます。

大人と2人で遊ぶ：18か月以上
ルート、洗車、遮断機。大人が名前を言い、子どもが走らせます。

少人数グループ：3～5歳
1人1台の車。行列とレスキュー。順番を待つことが、スロープの中に組み込まれています。

常設の遊びコーナー
各保育室にガレージを1つ置き、その園にある乗り物と組み合わせます。車に行き先ができることで、乗り物をただ集めるだけでなく、場面のある遊びへと発展します。

保育の現場で

電池なし。音は子どもが出します。歯固めにも安心

拭いてきれいにできます。車は屋外で本物の洗車にも通せます

車はガレージの中に収納できます。すべり台は取り外して平らに収納できます。

どの乗り物も1台ずつ購入できます。セットではなく1台だけ追加・交換できます

観察のポイント

☐ ボタンを押したあと、ヘリポートを見ますか？

☐ ルートを順番どおりに走り、それぞれの場所を言えますか？

☐ 声をかけられなくても、遮断機の前で自分の順番を待てますか？

☐ 言われなくても、下りた遮断機で止まりますか？

☐ 洗車を通り抜ける車を、1台ずつ1回数えていますか？

☐ お話の自分の部分は、前の子の続きになっていますか？

学びの領域

身体の発達

コミュニケーションと言葉

人間関係と心の発達

身近な世界の理解

数学

表現活動

セットを広げる

ガレージは小さな乗り物セットから遊びを発展させる次のステップです。すでに園にある車にも、それぞれの行き先ができます。自由に車輪が回るシリーズのほかの乗り物やCity Serviceを加えると、ガレージ前の広場まで再現できます。

Baby Racer

Baby Helicopter

Baby Fire Engine

Baby Police Car



1 上と下

12～24か月
子ども1人+大人

用意するもの

ガレージとヘリコプター。

進め方

1. ヘリコプターをヘリポートに載せます。ボタンを押します。「上！」
2. もう一度押します。「下」。ゆっくり、言葉を添えて、さらに2回くり返します。
3. 手を離して、待ちます。子どもが押すか見てみます。
4. すべり台に移ります。車を上に置いて、手を離します。「すーっ、下」。

学びのねらい

原因と結果

上と下

手先の器用さ

予測

やさしく — はじめの数回は、子どもの指をボタンまで導きます。

難しく — 押す前に「どうなるかな？」と尋ね、言葉や視線を待ちます。

注目ポイント

お子はボタンを押したあと、ヘリポートを見ますか？ 押した結果を確認しようとする様子は、ボタンを押すとヘリポートが動くという原因と結果の関係を理解していることを示します。

2 遮断機を通して

18か月～3歳
子ども1～2人+大人

用意するもの

ガレージと車1台。

進め方

1. 車を遮断機まで走らせませす。止まります。「遮断機が下りているから、待とうね」。
2. 遮断機を持ち上げます。「発進！」 通り抜けませす。
3. 下げませす。車を戻しませす。もう一度待ちませす。今度は子どもに持ち上げてもらいませす。
4. 出口にも2つ目の遮断機を加えませす。1つのルートで2回待ちませす。

学びのねらい

止まる、進む

自己コントロール

手先の器用さ

順番を待つ

やさしく — 大人が遮断機を動かし、子どもが運転しませす。

難しく — 子ども2人、1人1台。2台目は、1台目が通るまで遮断機で待ちませす。

注目ポイント

言われなくとも、下りた遮断機で止まりませすか？ 動く前に合図を待つのは自己調整で、これはそれをとても具体的に練習する方法です。

3 ルート

2～4歳
子ども1～2人+大人

用意するもの

ガレージと車1台。

進め方

1. ルートを一度見せて、各所の名前を言いませす。「入る、上がる、洗う、とめる、すべる、出る」。
2. 子どもに運転してもらいませす。走りながら一緒に場所の名前を言いませす。
3. 教えなく、各所で「次はどこ？」と尋ねませす。
4. 逆向きにも走ってみませす。できるかな？ なぜできないのかを話しませす。

学びのねらい

順序立て

位置を表す言葉

記憶

語彙

やさしく — 場所は3つだけ。入る、上がる、すべる。

難しく — 子どもが走る前にルートを語り、それから確かめませす。

注目ポイント

5つの場所を順番に覚えていられませすか？ 走る前にルートを語るのは計画で、助けなしに「次はどこ？」に答えられるのは、順序が身についた姿です。



4 洗車

2~4歳
子ども1~3人+大人

用意するもの

ガレージと車3台すべて。あれば屋外で少量の水と布。

進め方

1. 「車が汚れてる！」と言い、車を洗車場の前に並べます。
2. 最初の1台を通します。「きれいになった！」反対側に止めます。
3. 次の車。出てくるたびに、きれいになった車を数えます。1、2、3。
4. 「まだ汚れているのは何台？」見て、数えて、終わらせます。

学びのねらい

数える 1対1対応 順序立て お世話

やさしく — 1台を洗って止める、をくり返します。

難しく — 大人が言う色の順に洗います。

注目ポイント

通り抜けてくる車を、1台ずつ1回数えていますか？動くものを数えるのは、1列に並んだものを数えるより難しいことです。1対1の対応を試みましょう。

5 行列

3~5歳
子ども2~3人+大人

用意するもの

ガレージと車3台すべて。1人1台。

進め方

1. 子どもが1人ずつ車を選びます。3台とも遮断機まで走ります。
2. 誰が先か決めます（いちばん年下、または大人が言う色）。ほかの子は待ちます。
3. 1台目が上がり、止まり、すべり降ります。そのあと次の車のために遮断機を上げます。
4. 2周目。順番が変わります。いまは誰が先？

学びのねらい

順番を待つ 待つ 公平 協力

やさしく — 子ども2人。大人が遮断機を持ち、それぞれの番を呼びます。

難しく — 子どもたちが自分たちで順番を決め、なぜ公平か説明します。

注目ポイント

言われなくても、遮断機で待てますか？順番を決めて守るのが社会性の力で、なぜ公平かを説明できるのが次のステップです。

6 ヘリコプターでレスキュー

3~5歳
子ども2~3人+大人

用意するもの

ガレージ、ヘリコプター、車2台。

進め方

1. 最上階で車が故障しました。「大変！どうやって帰ろう？」
2. ヘリポートでヘリコプターが上がります。車のところまで飛びます。どうなる？
3. 子どもが順番に続きを加えます。ヘリコプターが持ち上げ、車がすべり降り、洗車、充電スポット。
4. みんなで終わらせ、「はじめに何が起きた？最後は？」と尋ねます。

学びのねらい

お話づくり 順番を待つ 順序立て 想像力

やさしく — 大人がほとんどを語り、子どもは1人1つずつ加えます。

難しく — 時計を合わせます。ヘリコプターは3時までに戻らないといけません。いまは何時？

注目ポイント

それぞれの部分は、前の続きになっていますか？共有のものを囲む共同のお話づくりで、ガレージは仕掛けから世界へと変わります。

